

WRI NewsLetter 改題

N. 101

4/26

非暴力直接行動

戦争松城指印タ日本部。大阪市阿倍野区旭町2-12-2 ウリ大阪 発行

▼「不払い連のアピールに呼応する特集号」

war resisters' international

あなたに

いつ、原発の元兇、関西電と対決するのか。

この絶好のチャンス到来を!!

自分のちがうさと怠惰で見逃すのか。

四月分の
電気料金
支拂いは

日割計算を拒否しよう

もう支払
つてたら
五月分で



▼ 正確なメーター指示量による、新旧電気料金の請求がないときは、100円から1円までの任意の金額を、差引いて支払うこと。

▼ たいそれだけの、消費者にとつてしごく当たり前のことが、
あんなにとつてはほんのわずかな手間ではないことが、関西電力を、その瞬間から、
あんなにとつてはほんのわずかな泥沼の窮地へと追い込むことになる。

▼ なげなら、もし100円差引きで関電が受取つたら、黙つて日割計算請求の電気料を払つた人たちは、5月・6月分で、その差引きを、鏡々要索して收拾がつかなくなる。

▼ ウリニュースは、宛名記入、50円の手貼付の封筒を4枚（約半紙）を送り下された方に、毎月郵送します。

★電気料金の新旧料金計算についての問題は、不払い連のビラ及び「おさきまつくら」は号など家廻して下さい。



女が笑えば

「未来」

4月号

林 郁

「やることいっぱい。持ち駒たくさん。共同行動つかされ。敵の攻め手をよく考えて。味方の弱味も忘れずに。追い追いついてくるはかり事。三人よれば文殊の知恵。万人よれば饅頭の知恵。なかのフンコが月満ちて、十月十日のそのあした、いよいよとび出す直接行動。さあさあそれではイザ出陣。ちよつと待たれい、あわてるな。まずは出てくるびつくり漫才。花の応援団の勢ぞろい。エイエイオウのかけ声で、ひろげる問答あれやこれ。鬼さんでるか、蛇がでるか。お代は見てのお楽しみ。ヘソの茶釜で湯を沸かしや。電気コンロはいりまへん。……さあ、はじまり、はじまりい。」

といったような掛け合いで始まる漫才を創り、演ずるは、大阪の「なにがなんでも原発に反対する女たちの会」の女たち。漫才や寸劇の名演技で、原子力発電のおそろしさや原発に反対するため電気代を不払いする方法などを人々に知らせ、デモではシュプレヒコールや言いたいことをアドリブでリレーし、替え歌や新曲を披露する。

「市民のみなさん、今日のデモは私たちを守っておまわりさんも一緒です。このデモはあくまで非暴力直接行動でいたします。どうかおまわりさんも興奮せず、非暴力でお願いします」「写真を撮っている私服さん。アルバムに入れたいと思いますので、写真のネガは全部こちらにお渡し下さい。さもないと肖像権の侵害となります。無断撮影は告訴されることがあります。さあカメラをしまつて、いっしょにデモしましょう」「関電のみなさん、ごくりうさん。そん

▼といつて、百田差引きの電気料を受けとれないとして、関電がしつこく請求するとしても、消費者(あなた)の正当なメーター指示数による根拠のある請求を、という主張に対しては、どう計明しようもない。つまり、受取るに受取れず、といつて正しい請求をするに出来ずという立場におちこむ。たいてい「お願いする」ばかりない。

▼道理からも法律的にも消費者(あなた)に正当性があるとき、関電のお願いをきくもさかぬも一切勝手。正しい請求額も呈示せず、といつてあなたがかかるとい

う電気料もつけこらぬい。

そのことで出てくる結果

としてのへ電気料金不払い

いは、もちろん関電の

責任・だから……

▼「万が一にも」送電停止

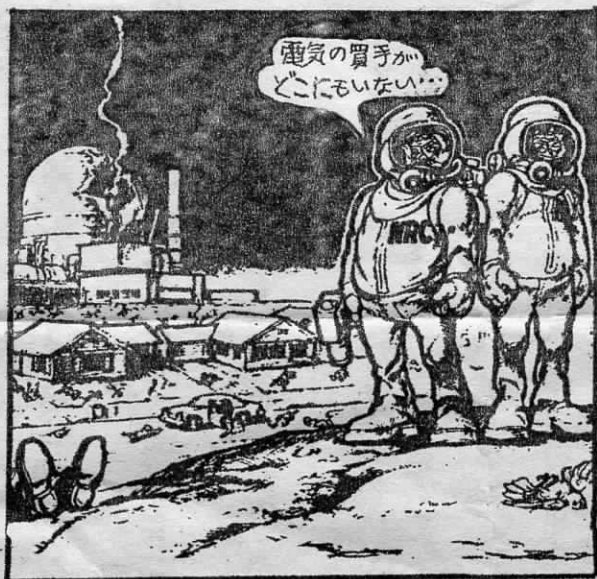
なんてことをやるナンテ

ことは出来るはずもない、

もし送電カットするなど

脅迫めいた言辞や通知が

あつたら、すぐ「不払い



(註釈)「ときはいま天か下知も五月(あき)と味

んだのは、本能寺の織田信長に叛乱した「三白天

正の明智光秀の句。値上げ断行で天下をとる

あま いた し かん どん

なにこわい顔せんといっしょに、デモやりまひよか。死の灰つくる犯罪行為をとめるため。……そのうち原発大事故で、会社つぶれてえらいこっちゃ。つぶれるばかりか地獄行き……」などと、歌うようなシュプレヒコールを繰り返しながらデモ隊は天満橋を渡る。

デモ隊が百貨店前にさしかかると、上空から紙吹雪が舞い散る。私服が百貨店の屋上にかけてつけるころには、ビラ爆弾を投げた誰かさんはすでに群衆と共に拍手している。関電ビルにさしかかると隊列はストップする。かけ寄るおまわりさんたちの前で、女たちは道に敷物をひろげ、ゆつくりと赤ん坊のおしめを取り替える。お腹の大きい女はどっこいしょとひと休み。託児係の男たちもひと息入れる。おまわりさんは足ぶみし、ついに怒鳴る。「もうええやろ。はよ動かんや交通妨害や」女たちは笑ってとり合わず、さて、今度はいくつもの列に分かれて少しずつすすむ。そして一斉に叫ぶ。「またちょいちょいやってくるでえ」「さいなら、さいなら、お名残りおしや。関電さあん、原発やめへんかったら、電気料金払ろたれへんよう」

またある時は、不払い連のびつくり講座。京大、ハーバード大、プリンストン大をへて、アメリカ原子力委関係につとめて帰国し、いま原子力文化事業団に関係するA氏から推進派の立場を聞く会。スーツにネクタイ姿でA氏になりきったBさんの十数冊の専門書を読破しての講演はなかなかのもの。だが、途中でどんでんがえし。またある時は、デモの申請を数カ所を出し、電話で口々に大量デモの相談をする。それを盗聴した警察は、大量の機動隊を繰り出して待ちかまえたが、そこに現われたのはチョビチョビのデモ。本隊は予想外の所に現われ、陽動作戦に大笑い。ある時は白い割烹着にタスキがけでビラを配ると、愛国婦人会だとオジさんたちにほめられたり……。

昨年春、わたしは大阪の知人に電話し、天王寺の歩道橋で待ち

連サービスセンター06-141-4008へ連絡。すると関電さんの態度は、借りてきたネコのようにオトナシクなること保証付。

いまだうちに
蜂起せよ！
全国で一せいに

▼不払い連歌劇舞踏派（通称「不払い連」）グループは2月16日（木）回市民講座で右のようなアピールを発表した。といつてそれは「直ちに不払いをせよ」というのでは決してない。「不払いをするな、ごく当り前の正当な電気料金を、必ず支払うこと」を、あなたに求めているのである。

▼この千載一遇、何年に一度ぐらいしかない絶好の、こちらから攻めるチャンス！いつも守りと受身の一手の闘いから転換して、自分がつくり出した闘いに躍起しくな、一体いつ闘いに立上るのか。もし反原発をあなたが日頃口にしているとしたら、この機会を、面倒くさいとか、他用で忙しいということで、見逃してしまうことが許されるのか、をアピールするのである。

▼そして原発に良心のない隣人の一般市民へは、日割計算のバラクリを知らせ、不当電気料金はへ支払済むつたら、五月分まで100円差引

★この早さをよんで日割計算を拒否された方は、そのやりとり結果をハガキで「報下さい。早急におききまつくらをお送りします。ぜひ。」

41 18 197

台わけの約束をした。取材旅行のついでにお喋りをしようという軽い気分で天王寺に向かった。列車の事故で一時間おくれたので「お待ちせしました」と大声で挨拶して駆けよると、十何人もの男女が一斉にこちらを見た。次々挨拶をすると、「この人たちには頭下げんとよろし」とF子さんが言う。バラエティーに富んだ身なりの男性諸氏は私服であった。

わたしとの電話が盗聴され、スリーマイル島の原発事故にひっかけて街頭行動をする計画が伝わってしまったらしいと聞き、冷や汗がでた。しかし彼女たちは陽気だった。「遅れたおかげで一時間よけに、通行人にこれ見せられてよかったわあ」と、原発事故のおそろしさを背と胸に記した紙の服を示す。

翌日は大阪駅前の百貨店屋上からピラ吹雪を降らせた。NHKや新聞社がかけつけ、カメラをむける。下で見ていたら、一番のりの男が地面に両膝をつき、落ちたピラの文字を撮影している。何と熱心なカメラマンだろう。激励しようとしたしは近寄った。ところが彼は私服さんだった。

「大阪の天気は雨とところにより紙吹雪となるでしょう。……十センチ四方のピラが大量に降り出し、駅上空にはわか吹雪。……このピラの問い合わせは441の8821」という翌朝の新聞記事に載った電話番号は、何と抗議先の関西電力のもの。ピラの文句は十二種類、そのひとつを紹介すると「前の戦争で原爆落されて何十万という人たちが殺された。うちのお母ちゃん、つくづく思たんやで。国の言うこと信用してついていくと、ろくなことあらへん。もうだまされへんぞうって。でも、お母ちゃんもうちもまだだまされてるんとかやろか。平和利用やなんて言葉にごまかされて……」その大阪行きるとき、わたしは胃を患っていたのだが、大阪の女たちと大声で笑ったり、胸がどきどきしたりしたら、食事がおいしくて、夜もずくと眠れた。笑いは何よりの治療だと実感した。……

（ハ後略）

いて「還付要求すること」をすくめようと訴えてる（下略）ものである。

▼ 不払い連はいま、そのようなときの問題を解決するために、「不当に水増し徴収された電気料金還付請求」の訴訟と、一方で、不当な送電停止の通告がきた場合、直ちに「電気事業法ならびに供給規程違反・送電停止行為差止め訴訟」などをやるべく、準備をすゝめている。

▼ 結局、南電はこの問いに答える限り勝ち目がない。たゞ消費者あなただに、ことおんびんにと「お願い」する以外にない。とすればそのお願いに応じて、わたしたちがグループをつくり総意を結集して、では……と社長相手に申入れるのも当然のことである。

▼ 不当不正な電気料徴収の発覚は、電力会社にとつて死命に關する問題だ。しかもその訂正が今となつてはどうにもできないということにおいて、たゞ一人の異議申立てでも、その波及を考えれば大へんなことである。そして、それが百人千人・全国でとなれば、電力会社にとつて、まさに革命的事態に「発」とかわねばならない。

▼ そこまで迫りこめるかどうか、それはあなたの強く熱い反原発の思い如何にあるのではなく「いま、今月分の電気料金を、百円（或は一円でもよい）差引いて支払う」受取らねば現金封筒で送金する」という、たゞさやかな、その一事、ちよつとした手肉の行為、そのことにある！ あなたの蜂起を！

文責 何井 序